

妊娠中に急性虫垂炎を発症した患者さんの 情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター産婦人科では、「妊娠中に急性虫垂炎を発症した症例の後方視的検討」を行うことになりました。

この研究の目的は、妊娠中に急性虫垂炎を発症した患者さんの発症から分娩に至るまでの経過を調べて、診断方法や治療方法がどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2010年1月1日より2024年8月31日までに治療した方の診療録、検査データの調査を行います。対象となるのは当院および杏林大学医学部附属病院で治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（発症時の妊娠週数、採血データ、診断のためにおこなった画像検査データ、治療方法、分娩週数など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025年2月

研究責任者 東京医療センター 産婦人科

山下 博

連絡先 03-3411-0111(代表)